

## 『神奈川県レッドデータブック 2022 植物編』における維管束植物レッドリストのカテゴリー見直しについて

『神奈川県レッドデータブック 2022 植物編』（令和4年3月公表）に掲載した維管束植物レッドリストについて、『神奈川県レッドリスト 2020 植物編』（令和2年10月公表）からカテゴリーを見直した種は次のとおりです。

カテゴリーを見直した種	県レッドリスト 2020 (見直し前)	県レッドデータブック 2022 (見直し後)	該当 ページ	見直しの理由
トダスゲ	—	⇒ 絶滅	P.159	レッドリスト 2020 では選定外としていたが、その後、標本が確認された（田中, 2021）ため、絶滅と判定し、リストに加えた。
ユクノキ	—	⇒ 絶滅	P.216	レッドリスト 2020 では選定外としていたが、その後文献を整理する中で、前回のレッドデータブック 2006 と同様に絶滅と判定し、リストに加えた。
サワトラノオ	—	⇒ 絶滅	P.258	レッドリスト 2020 では選定外としていたが、その後、標本が確認された（田中, 2021）ため、絶滅と判定し、リストに加えた。
アオナリヒラ	絶滅危惧 I B 類	⇒ —	—	レッドリスト 2020 では絶滅危惧 I B 類としていたが、その後文献を整理する中で、県内の分布は植栽のものであると判断し、対象外としてリストから削除した。
アカウキクサ	絶滅危惧 I A 類	⇒ 絶滅	P.65	レッドリスト 2020 では絶滅危惧 I A 類としていたが、事実上絶滅状態であるため絶滅に修正した。
エビアマモ	絶滅危惧 II 類	⇒ 絶滅危惧 I B 類	P.111	レッドリスト 2020 では絶滅危惧 II 類としていたが、判定の基礎とした採集地数がデータベースの登録情報のゆらぎのため過小評価であったため、絶滅危惧 I B 類に修正した
コンロンソウ	絶滅危惧 II 類	⇒ 絶滅危惧 I B 類	P.246	レッドリスト 2020 では絶滅危惧 II 類としていたが、判定の基礎とした採集地数がデータベースの登録情報のゆらぎのため過小評価であったため、絶滅危惧 I B 類に修正した
クチナシグサ	絶滅危惧 I B 類	⇒ 絶滅危惧 I A 類	P.291	レッドリスト 2020 では絶滅危惧 I B 類としていたが、判定の基礎とした採集地数がデータベースの登録情報のゆらぎのため過小評価であったため、絶滅危惧 I A 類に修正した。
マツムシソウ	絶滅危惧 I B 類	⇒ 絶滅危惧 II 類	P.321	レッドリスト 2020 では絶滅危惧 I B 類としていたが、過去の記録については、ソナレマツムシソウと区別することは難しいものも含まれ、ソナレマツムシソウと併せての評価として、絶滅危惧 II 類に修正した。
ゴマノハグサ	絶滅危惧 I B 類	⇒ 絶滅危惧 I A 類	P.280	レッドリスト 2020 では絶滅危惧 I B 類としていたが、判定の基礎として採集地数がデータベースの登録情報のゆらぎのため過小評価であったため、絶滅危惧 I A 類に修正した。